

おわりに

長委三美先生による「東医の礎」をもとに「東京医科大学建学の礎」を発刊できましたことは編集に携わった私達にとって欣快の至りです。「東医の礎」は長先生が大正五年五月十六日に日本医学専門学校より退学処分を受けた十三名の学生に殉じて同盟退校したのち、新たな医学校を設立するという目的に向かって苦闘した日々の記録です。しかしながら、この記録は長先生の苦闘をつづったものではなく、学生達を応援してくれた各界の錚々たる方々の暖かい言葉をそのまま写した本であり東京医学専門学校設立が如何になされてきたかを知る上で大変貴重な内容を含んでいます。とくに開学の祖である高橋琢也先生の生の声がいくつか記録されており、高橋先生が身を挺して学校設立に尽力されたか筆舌に尽し難い部分もこの本を読むことで感得できます。高橋先生を中心とし、長先生ら四百数十名の学生団が一条乱れず新校設立へと邁進したことは想像を超える出来事です。東京医科大学は数年後に百周年を迎えます。この時にあたり、九十一年前の夏を思い起こすことは大切なことかと思われます。

「東医の礎」の原稿とそのコピーをご提供下さった長委三美先生の御次男、長亨先生や今回の編集に多大なご協力を戴いたご家族の皆様には厚く御礼申し上げます。また、中濱東一郎先生が本学の開設に関与されたことを知って、快く回生病院や回生病院スタッフの写真を御寄贈いただきました中濱博先生（中濱東一郎博士の孫）にも感謝申し上げます。「東京医科大学建学の礎」を発刊するにあたり、暖かい

ご支援を戴くとともに格調高い文章をご寄稿戴きました東京医科大学理事長・伊東洋先生、下光輝一先生（東京医科大学学長職務代理）、佐藤蕃先生（東京医科大学・昭和二十九年卒業、順天堂医院副院長・佐藤佐先生の孫）にも心より御礼申し上げます。

「東医の礎」の原本（コピー）は長委三美先生の直筆であり、編集者らにとって解読が難しい部分が多くありました。それらの部分の解読は日本大学生産工学部教授・田中直樹氏、東定宣昌氏（九州大学・名誉教授）、草野真樹氏（福岡県地域史研究所研究員）、山本多賀子さん、青山恵里香さん（東京医科大学図書館）のご協力によりました。深く感謝いたします。解読が完全でない部分もあるかもしれませんが、いずれ改訂版が発刊できる機会がありましたらその時に校正を行うということでご容赦いただきたいと存じます。

また、「東医の礎」の内容を補完する上で、本文中に注や訪問名士の略歴などを加えました。

平成十九年七月

東京医科大学および「東京医専」

一色 淳、勝村俊仁

栗原茂勝、友田燁夫

長委三美・訪問譜（紛争経過、森鷗外日記、中濱東一郎日記との比較）

長委三美訪問先（東医の礎より）

紛争経過（奮闘の半年より）

森鷗外日記、中濱東一郎日記

および日本と世界の動き

大正5年

5月1日

新一年生、血判状に参加

大正3年7月28日より第一次大戦

5月3日

文部次官福原僚二郎

高田早苗文部大臣への嘆願書提出

（大正7年11月11日まで）

文部省専門局長 松浦鎮次郎

ベルダンの戦いは大正5年7月11日まで

5月4日

学校側より13名の退学処分

保証人会開催

5月5日

保証人会開催（於土佐協会）

5月6日

高島平三郎

学生集会（午後6時、学校内）

5月7日

学生会議（根津演芸座）

5月11日

学生大会（朝8時20分）

大角桂蔵より保証人委員会の報告

5月13日 大隈重信秘書官 山崎

保証人大会開催（午後7時、青年会館）  
大隈首相へ上申、血涙録の提出

5月15日 大角桂藏

5月16日 通信省参政官 荒川五郎

学生・保証人会大会（午後6時、本郷中央会堂）。学生総退学を決議

5月18日

第一回公開演説会開催（神田青年会館）

5月某日 茅原華山（廉太郎）

5月24日

第二回公開演説会（神田青年会館） 三党首会談（原敬、加藤高明、犬養毅）

5月25日 法学博士 花井卓藏

帝大教授医学博士 呉秀三

5月27日 帝大教授医学博士 永井潜

石黒男爵を訪問（森鷗外日記）

5月28日

学生会議（午後1時〜）

5月29日

学生会議（午前9時〜）近藤次繁博士が 青山胤通博士を訪問（森鷗外日記）

5月30日 茅原華山

学部教授）学生後援会に参加

タートル来日

5月30日 演説会（9〜12：00）

学生会議開催（午後1時〜）

東洋大学長 高島米峯

市議員 笠原文太郎

二十世紀主筆 森川国南

慶大教授 向軍次

大町桂月

5月31日 加藤高明男爵の秘書山本

第3回公開演説会開催

(本郷大和座5:00~12:00)

講演者は高島、笠原、森川、向、

大町ら

学生会議開催(午前9時~):頭山満翁他

23名が後援会に参加する旨(頭山満、

福本誠、寺尾亨、内ヶ崎作太郎、安部磯雄、

永井柳太郎、高島鎌一郎、向軍次、近藤次繁、

室田義文、竹内作太郎、笠原文太郎、

伊藤仁太郎、秋虎太郎、朝比奈知泉、

土屋清三郎、青柳有美、森川国南、尼子四郎、

中村千代秋、岡部嘉一郎、多納栄一郎、

斎藤孝治らか:太字は強力な支援者、斜字は

妥協派)奥宮衛委員長は後援会より脱会。

5月31日か 医学博士 尼子四郎

6月1日

学生会議（午前8時） 政党幹部を訪問

島田三郎衆議院議長の協力の確約を得

6月2日

前沖繩県知事

高橋琢也

学生会議（午前8時） 頭山満を後援会

発起人として希望することを確認（頭山は

寺田亨と福本誠に託した）。

6月3日

学生会議（午前9時） 学生県人会の名士

訪問の報告あり

学生会議（午前9時） 各政党本部訪問報告

6月4日

学生会議（午前8時） 文部省訪問委員5名

を文部省に派遣することを決議

高田文部大臣と夕食

（森鷗外日記）

6月6日

学生会議（午前9時） 県人会学生に

よる名士訪問の報告（本多忠夫、洪沢

袁世凱没、黎元洪、中華民國  
大統領に就任

基次、山川健次郎各氏を訪問）。

6月7日

学生会議（午前8時） 文部省訪問の報告

6月8日

佐藤達次郎

学生会議開催（午後1時）

第4回公開演説会開催（本郷大和座）

6月9日 医学博士 陸軍軍医総監

男爵 佐藤進

6月10日 大野銀行頭取・大野九兵衛

佐藤佐

医学博士 三宅鉦一

6月11日 市議員 秋虎太郎

学生会議（午後1時）、本郷鈴木亭）  
福原次官の発言報告。

6月12日 東京府会議長 齊藤孝治

学生会議（午後1時）夕刻、後援会会合  
（万世橋ミカド俱樂部）参加者：高橋琢也、

寺尾亨、向軍次、茅原華山、秋虎太郎、

笠原文太郎、齊藤孝治ほか計31名

（斜字は妥協派）

学生会議（午前10時）昨日のミカド

俱樂部における後援会相談会の内容の報告：

第一回の会合であり具体案はないが、

大いに樂觀してよいとの報告があった。

夜前日本医学専門学校生

島根県人太田隼知、河野正夫を引

見す。（森鷗外日記）

6月14日? 法学博士 寺尾亨

代議士 上野安太郎

学生会議開催(午後1時) 齊藤孝治氏一派

の折衷案に耳を傾けないよう注意があった。

齊藤孝治、笠原文太郎、関幸太郎氏ら

による別途会合(妥協派)の案内状を公開

6月15日

学生会議(午前10時)「後援会はある

具体案に向かって進行中であり、安心せよ。」

との報告。学校で旧4年生の落伍者15名の

卒業試験が行われた。

6月16日

学生会議開催(午後1時)

6月17日

学生会議開催(午後1時)

6月18日 佐倉侯 伯爵 堀田正恒

学生会議開催(午後1時) 高島平三郎氏が

日本医学専門学校を辞職

前代議士 福本日南

6月19日? 第一銀行頭取佐々木勇之助

学生会議開催(午後1時)

6月20日 貴族院議員・軍医総監・

学生会議(午後1時) 文部省訪問報告

男爵・石黒忠恵



6月21日

学生会議開催（午後1時～）

6月22日 貴族院議員 江原素六

学生会議開催（午後1時～）、重要議事なし

大町桂月

代議士 守屋氏介

6月23日 荒川五郎・副參政官

学生会議開催（午後1時～）

6月某日 ライオン 小林富次郎

6月25日 高橋琢也

学生会議（午後1時～） 文部省訪問報告

高田文部大臣談話について報告

6月26日 佐藤進男爵

学生会議開催（午後1時～）

6月29日 海軍軍医学校長 軍医総監

学生会議（午後1時～）

矢部達三郎

学生の中に気迷うものが出て、斉藤氏らの

海軍医務局長 医学博士

妥協案に賛成し脱落するものがあるので、

本多忠夫

注意喚起。

前代議士 井上角五郎

6月30日 東京市施療病院事務長

学生会議（午後1時～）

藤井庄一郎

団結を図るため、退学願書を全部取り集め

7月1日

学校に提出することを決議。

学生会議（午後1時～）

欧州戦線（ソナムの激戦）

父親が割腹したH君の話あり。

7月初旬  
森村市左衛門（森村商会）

7月2日

学生会議（午後1時～） 後援会の活動に

学生が支障とならない範囲で活動する旨確認。

7月3日

学生会議（午前9時～）明日、後援会有力者が

本会議場に臨場し、全学生より委任状提出を

提案されるので、学生各自は2銭収入印紙と

認印を持参とのこと。

7月4日  
前沖縄県知事 高橋琢也

学生会議（午後1時～4時55分） 学生後援会への

委任状を各自に配布。一方、学校側の後援会

（＝妥協派）も7月6日まで復校願を提出する

よう要請した書状（斉藤孝治氏と関幸太郎氏の連名

にて）を配布した。妥協派の学生12名は会議場

より退場した。休会のうち、5名士（高橋琢也、

7月5日

大角桂蔵、秋虎太郎、寺尾亨、福本誠)の登場。  
各氏の話。学生のために尽力することを確約。  
学生会議(午前9時〜午後2時20分) 文部省訪問  
委員の報告。福原次官の言が披露された。

7月6日

前日退場した学生12名の処分問題など検討。  
学生会議(午前9時〜) 県人会主任の改選。

7月7日

学生会議(午前9時〜) 妥協派分子の処分  
に関する検討。近々学生団解散の可能性  
があるので、連絡網の確立を審議

7月8日

陸軍軍医総監 医学博士

学生会議(午前9時〜) 法律顧問の選定の件

森林太郎

7月9日

学生会議(午前9時〜)

夜前日本医専門学校生徒

7月某日

海軍医務局長 軍医総監

医学博士 本多忠夫

欧州西部戦線ではベルダン

国論者探題 佐藤貝村

の激戦

7月9日 前万朝報主筆 茅原華山

前福岡新聞社長 福本誠

7月10日

学生会議開催（午前9時～）

7月11日

学生会議開催（午前9時～）

7月12日 帝大教授・医学博士・

学生会議開催（午前9時～） 前日、

近藤次繁

日本医学専門学校に退学願提出

7月12日 医学博士 南大曹

衆議院議長 島田三郎

7月13日 回生病院長 医学博士

学生会議（9時～10時）重要議事なし

中濱東一郎

旧日本医学校生徒の為に学校新設するに付き、有志者両国の某亭に会す。予も本日始めて之を

東京市主事 藤井庄一郎

を知りたるか為出席するを得ず

7月14日

学生会議（午前9時～）

説明会

学生会議（午前9時～）後援会委員、

前沖繩県知事 高橋琢也

学生総代の報告。10時5分に高橋

（中濱東一郎日記）

法学博士 寺尾亨

前代議士 福本誠

7月16日

7月17日 慶大教授 向軍次

7月18日 後藤新平

7月18日 医学博士・呉健

） 海軍大将・中尾雄

7月19日 通信省参政官・荒川代議士

慶大教授法学博士・気賀勘重

東京府会議長 斉藤孝治

7月20日 貴族院議員 江原素六

7月21日

帰郷学生宛に妥協案に耳を傾けないよう

注意の手紙を発送する件承認。

文部省訪問委員5名の選出。

7月23日

代議士・瀧口了信

前万朝報主筆 茅原崙山

7月25日

7月27日

連合会議開催（午前9時）、文部省訪問

委員の報告あり 次官と面会せりと

7月30日

連合会議 緊急動議なし

8月以降

（日時の記載なし）

農商務省大臣・河野広中

前農商務次官・和田彦次郎

医学博士 額田豊

東京市伝染病院・二本鎌三

衆議院副議長・早速鎮蔵

8月3日

連合会議開催（午前9時）

8月4日

本部から、学生およびその父兄と

保証人に対して、承諾書を送付した

8月6日

連合会議開催。 団費未納者に対する処置、

前日の承諾書の件について討議。 帽章

図案の募集の件。

8月9日

連合会議開催（午前9時半）

8月12日

8月15日

8月18日

8月19日

8月21日

8月24日

9月8日

9月11日

茅原華山、米国へ出発

高橋琢也氏来訪（中濱東一郎日記）

通告第一を団員に発送した。

博士佐藤達次郎君来訪、云々

（中濱東一郎日記）

東京医学講習所開校式（東京物理学校にて）

式辞：大角桂巖、経過報告：秋虎太郎

教務に関して：佐藤達次郎、

祝辞：高橋琢也、福本誠、

答辞：中本富太郎 午後1時より向島

サッポロビール庭園において祝賀懇親会

9月12日

午前中物理学校の医学講習会へ

参観。帰路、高橋琢也氏を訪問。

(中濱東一郎日記)

9月19日

順天堂外科手術室、学生のために解放される

9月24日 衆議院議長・島田三郎

級長会議

子爵・加藤高明

三輪田女学校・三輪田元道

駿河台病院・近藤次繁

石黒忠恵

10月5日

第二次大隈内閣総辞職

10月9日

寺内内閣成立

10月10日

憲政会結成(総裁は加藤高明)

10月12日 貴族院議員・和田彦次郎

10月15日 南胃腸病院・南大曹

10月15日 平山胃腸病院・平山金蔵

東京府会議長・斉藤孝治



11月17日 児童心理学大家・高島平三郎

11月28日 井上角五郎

12月2日 佐藤達二郎

12月09日

大正6年

12月22日 宮中顧問官・佐藤正

某日 尼子四郎

高野熊男

松原正寿

大正7年

1月20日 寺尾亨

某日 福本誠

某日 寺尾亨

夏目漱石没

夏目 漱石 116  
難波 静夫 171  
二木 謙三 140  
額田 豊 137  
野口 遵 10

(は行)

花井 卓蔵 23  
早速 整爾 135, 141  
原 敬 44  
原 三郎 134  
平山 金蔵 154  
福原僚二郎 11, 21, 48  
福本 誠(日南) 59, 65, 75,  
92, 100, 105, 115, 145, 174  
藤井 包総 49, 152  
藤井庄一郎 81, 92, 109  
藤中 正 24, 26, 47, 49  
富士川 游 24, 77  
船越 衛 43  
堀田 正恒 64, 65  
本多 忠夫 79, 93, 109

(ま行)

前島 密 84  
前田燐之助 128  
松浦鎮二郎 11

松原 正寿 169  
三浦 観樹(悟楼) 171  
南 大曹 103, 153  
三宅 鉦一 56, 142  
三宅 秀 56, 62, 63, 65, 76,  
77  
三輪 新一 100  
三輪田元道 145  
向 軍次 39, 59, 61, 116  
森 篤次郎 92  
森 鷗外(林太郎) 91, 142,  
150  
森川 国南 38  
森村市左衛門 88  
守屋 氏助 70

(や行)

八代 豊雄 142  
矢部辰三郎 78, 81  
山崎 15  
山根 正次 14, 19, 28, 70, 71,  
79, 91, 125, 127, 128, 130  
吉益 東洞 75

(わ行)

和田彦次郎 136, 151

木村 莊介 92  
呉 秀三 24, 25, 136  
呉 建 102, 119  
久原房之助 47  
河野 広中 132  
後藤 新平 28, 30, 99, 122  
小坂 襄 18  
小林富次郎 74  
近藤 次繁 102

(さ行)

斉藤 孝治 59, 60, 125, 127,  
130, 157  
佐々木勇之助 63  
佐藤 貝村 95  
佐藤 進 44, 48, 50, 51, 54,  
55, 56, 58, 62, 63, 64, 65, 68, 72,  
76, 77, 92, 94, 105, 107, 115, 120,  
130, 136, 137, 142, 144, 145, 148,  
149, 150, 151, 163, 164

佐藤 佐 55  
佐藤 正 165  
佐藤達次郎 50, 52, 56, 93, 94,  
102, 137, 142, 161, 168  
実吉 安純 77  
柴田 万吉 72, 150, 151  
品川弥次郎 82, 84, 85, 152  
島田 三郎 105, 130, 142

(た行)

高木 兼寛 42, 54, 77, 148  
高島平三郎 13, 124, 129, 130,  
158  
高島 米峯 33  
高田 早苗 11, 21, 22, 30  
高野 熊男 168  
高橋 琢也 41, 42, 58, 59, 61,  
66, 67, 69, 70, 75, 76, 90, 105,  
111, 152, 166, 168

竹下 文隆 167  
武富 時敏 44  
瀧口 了信 47, 135  
千葉 真一 142  
長 委三美 72, 144, 165  
寺尾 亨 59, 60, 66, 75, 90,  
105, 114, 145, 171, 174, 175  
田 健次郎 99  
頭山 満 171, 172

(な行)

中尾 雄 120  
中小路 廉 99  
長島 隆次 30  
中濱東一郎 107, 112, 137, 142,  
150  
中橋徳五郎 10  
中村徳三郎 130  
永井 潜 24, 26

# 人名索引

## (あ行)

青山 胤通 22, 46, 48, 57, 138,  
147, 168  
青山 豪一 98, 124  
秋 虎太郎 57, 59, 70, 80, 81,  
92, 109, 112, 121, 145, 161  
尼子 四郎 41, 136, 168  
荒川 五郎 18, 41, 72, 121,  
125, 129, 130  
石黒 忠恵 42, 48, 54, 67, 77,  
94, 146  
磯部 検三 14, 19, 37, 50, 54,  
59, 60, 68, 71, 72, 76, 81, 107, 124,  
125, 127, 128, 139  
一木喜徳郎 66  
伊東 佑亨 24  
井上 馨 44  
井上角五郎 80, 88, 159  
井上 達一 142, 149  
犬養 毅 44, 171, 172  
巖谷 小波 116  
江並 猛 27  
江原 素六 62, 71, 129

大隈 重信 96, 99, 134  
大澤 謙二 67, 77  
大澤 文雄 102  
大角 桂巖 16, 22, 46, 58, 59,  
60, 75, 105  
大野伝兵衛 54  
大橋 虎太 13  
大町 桂月 39  
緒方知三郎 155  
奥田 義人 44  
黄 興 28  
尾崎 行雄 30

## (か行)

笠原文太郎 35, 59  
金子堅太郎 44  
鎌田 栄吉 95, 138  
神田 鐮蔵 10  
茅原 崑山(廉太郎) 21, 27,  
46, 59, 61, 97, 133  
加藤 高明 28, 30, 40, 143  
気賀 勘重 126  
北里柴三郎 46, 97

## 東京医科大学建学の礎

---

2007年8月17日発行

発行所 学校法人 東京医科大学  
東京医専  
〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1  
電話 03-3351-6141(代表)

印刷・製本 大昭和印刷株式会社

---